



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月12日

上場会社名 エスペック株式会社 上場取引所 東
コード番号 6859 URL <https://www.espec.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役 執行役員社長 （氏名）荒田 知
問合せ先責任者 （役職名）取締役 執行役員
コーポレート統括本部長 （氏名）小田 秀征 TEL 06-6358-4741
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	47,101	1.7	4,282	△12.9	4,571	△12.3	3,321	△13.6
2025年3月期第3四半期	46,297	9.7	4,917	16.7	5,213	17.2	3,845	24.6

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 5,564百万円（15.2％） 2025年3月期第3四半期 4,831百万円（14.9％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	152.10	—
2025年3月期第3四半期	176.14	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第3四半期	79,604	59,389	74.6	2,738.17
2025年3月期	75,847	56,693	74.7	2,596.78

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 59,389百万円 2025年3月期 56,693百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	60.00	95.00
2026年3月期	—	45.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	70.00	115.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	68,000	1.1	7,600	1.0	7,750	△0.6	5,800	△3.4	266.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.9「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	23,781,394株	2025年3月期	23,781,394株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	2,091,806株	2025年3月期	1,949,204株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	21,837,608株	2025年3月期3Q	21,832,300株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想・配当等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループの事業環境につきましては、中期経営計画のターゲット市場としているAI半導体分野では主に日本や東南アジア、台湾において電子部品・電子機器の需要が堅調に推移いたしました。また、衛星通信分野では北米において投資が堅調に推移いたしました。自動車関連につきましては、EV・バッテリー向け投資に一服感が見られました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、前年同期比で受注高は主に北米、東南アジアが好調に推移し、8.5%増加の55,241百万円となり、過去最高を更新いたしました。しかしながら、大型製品や複数台一括といった長納期の案件が多く、売上高につきましては1.7%の増加にとどまり、47,101百万円となりました。利益面につきましては、主に受託試験サービスの収益悪化や、受注高の伸長や研究開発費の拡大に伴う販管費の増加により営業利益は前年同期比で12.9%減少し、4,282百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比で13.6%減少し、3,321百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2025年3月期)(百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2026年3月期)(百万円)	増減率(%)
受注高	50,920	55,241	8.5
売上高	46,297	47,101	1.7
営業利益	4,917	4,282	△12.9
経常利益	5,213	4,571	△12.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,845	3,321	△13.6

セグメント別の経営成績

当第3四半期連結累計期間のセグメント別の経営成績

	受注高 (百万円)	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
装 置 事 業	47,220	40,134	4,074
サ ー ビ ス 事 業	6,286	5,710	119
そ の 他 事 業	2,059	1,626	87
連 結 消 去	△324	△370	1
計	55,241	47,101	4,282

<装置事業>

環境試験器につきましては、国内市場では、汎用性の高い標準製品は受注高・売上高ともに前年同期並みとなりました。カスタム製品においては、EV・バッテリー関連を中心に好調であった前年同期と比較して受注高・売上高ともに減少いたしました。海外市場におきましては、前年同期比で受注高は北米、東南アジアにおいて大幅に増加いたしました。長納期案件が多く売上高は前年同期並みとなりました。

エナジーデバイス装置につきましては、EVバッテリー向け投資が一巡したことにより前年同期比で受注高が大幅に減少しましたが、売上高は前期に受注した一括案件の売上計上があり前年同期並みとなりました。

半導体関連装置につきましては、受注高は前年同期比で減少しましたが、売上高はAIサーバー用電子部品向け一括案件の売上計上により大幅に増加いたしました。

こうした結果、装置事業全体では、前年同期比で受注高は9.0%増加し47,220百万円、売上高は0.5%増加し40,134百万円となりました。利益面につきましては、主に販管費の増加により営業利益は前年同期比で6.3%減少し4,074百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2025年3月期)(百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2026年3月期)(百万円)	増減率(%)
受注高	43,316	47,220	9.0
売上高	39,923	40,134	0.5
営業利益	4,349	4,074	△6.3

<サービス事業>

アフターサービス・エンジニアリングにつきましては、予防保全サービス・修理サービスともに堅調に推移し、前年同期比で受注高・売上高ともに増加いたしました。

受託試験・レンタルにつきましては、EV需要減速に伴う投資抑制や開発計画の変更の影響を受け、前年同期比で受注高・売上高ともに減少いたしました。

こうした結果、サービス事業全体では、前年同期比で受注高は2.1%減少し6,286百万円、売上高は0.7%減少し5,710百万円となりました。利益面につきましては、主に受託試験サービスにおける減収及び減価償却費の増加により、78.9%減少の119百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2025年3月期)(百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2026年3月期)(百万円)	増減率(%)
受注高	6,424	6,286	△2.1
売上高	5,750	5,710	△0.7
営業利益	563	119	△78.9

<その他事業>

環境保全事業及び植物育成装置事業を中心とするその他事業では、植物工場の大型案件を獲得するとともに、森づくりも堅調に推移いたしました。こうした結果、前年同期比で受注高は32.5%増加し2,059百万円、売上高は75.1%増加し1,626百万円となりました。利益面につきましては、増収により前年同期比で大幅に増加し87百万円となりました。

	前第3四半期連結累計期間 (2025年3月期)(百万円)	当第3四半期連結累計期間 (2026年3月期)(百万円)	増減率(%)
受注高	1,554	2,059	32.5
売上高	929	1,626	75.1
営業利益	14	87	525.9

※ 当社グループにおいては、お客さまの予算執行の関係により、契約上の納期が第2・第4四半期に集中する傾向が強いため、四半期別の売上高をベースとする当社グループの経営成績には著しい季節的変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は79,604百万円で、前連結会計年度末と比べ3,756百万円の増加となりました。その主な要因は、受注残高の増加に伴う仕掛品等の棚卸資産の増加2,593百万円、前連結会計年度末に計上された売上債権（受取手形、売掛金及び契約資産並びに電子記録債権）の回収による減少2,043百万円、現金及び預金の増加1,448百万円、保有株式の時価上昇による投資有価証券の増加等による投資その他の資産の増加1,293百万円等によるものであります。また、負債は20,214百万円で前連結会計年度末と比べ1,060百万円の増加となりました。その主な要因は、契約負債等その他流動負債の増加836百万円、未払法人税等の減少690百万円、仕入債務（支払手形及び買掛金並びに電子記録債務）の増加665百万円等によるものであります。純資産は59,389百万円で前連結会計年度末と比べ2,696百万円の増加となりました。その主な要因は、円安進行に伴う為替換算調整勘定の増加1,409百万円、当第3四半期連結累計期間において親会社株主に帰属する四半期純利益が3,321百万円計上された一方、配当金として2,323百万円が剰余金処分されたこと等による利益剰余金の増加993百万円、その他有価証券評価差額金の増加871百万円、企業環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行及び株主還元策の一環による自己株式の取得等による減少766百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において業績計画を修正すべき状況が発現していないことから、2025年11月13日に公表した予想数値から修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,768	14,216
受取手形、売掛金及び契約資産	18,011	16,189
電子記録債権	5,842	5,620
商品及び製品	2,741	3,224
仕掛品	3,763	6,073
原材料及び貯蔵品	5,714	5,515
その他	1,807	2,435
貸倒引当金	△60	△75
流動資産合計	50,589	53,199
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,080	5,937
土地	5,221	5,262
その他（純額）	4,624	4,808
有形固定資産合計	15,925	16,009
無形固定資産		
のれん	1,368	1,180
その他	731	688
無形固定資産合計	2,100	1,869
投資その他の資産	7,232	8,525
固定資産合計	25,257	26,404
資産合計	75,847	79,604
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,928	4,333
電子記録債務	2,234	2,495
短期借入金	101	100
未払法人税等	1,072	381
賞与引当金	653	222
役員賞与引当金	17	—
役員株式給付引当金	144	—
製品保証引当金	242	274
受注損失引当金	3	5
その他	7,023	7,860
流動負債合計	15,421	15,673
固定負債		
長期借入金	25	441
退職給付に係る負債	90	105
役員株式給付引当金	148	170
役員退職慰労引当金	2	2
資産除去債務	25	26
その他	3,440	3,793
固定負債合計	3,732	4,540
負債合計	19,153	20,214

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,895	6,895
資本剰余金	7,053	7,280
利益剰余金	41,212	42,206
自己株式	△3,318	△4,085
株主資本合計	51,843	52,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,095	2,966
土地再評価差額金	△678	△678
為替換算調整勘定	3,190	4,599
退職給付に係る調整累計額	243	205
その他の包括利益累計額合計	4,850	7,092
純資産合計	56,693	59,389
負債純資産合計	75,847	79,604

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	46,297	47,101
売上原価	29,486	30,564
売上総利益	16,811	16,536
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	3,670	3,844
賞与引当金繰入額	81	78
製品保証引当金繰入額	72	108
役員株式給付引当金繰入額	44	27
貸倒引当金繰入額	23	9
のれん償却額	189	188
その他	7,812	7,997
販売費及び一般管理費合計	11,894	12,253
営業利益	4,917	4,282
営業外収益		
受取利息	44	46
受取配当金	206	195
補助金収入	50	1
為替差益	—	13
その他	74	70
営業外収益合計	375	327
営業外費用		
支払利息	16	22
支払手数料	7	12
為替差損	50	—
その他	5	3
営業外費用合計	79	38
経常利益	5,213	4,571
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	106	158
特別利益合計	108	160
特別損失		
固定資産除却損	2	4
特別損失合計	2	4
税金等調整前四半期純利益	5,319	4,727
法人税、住民税及び事業税	1,473	1,406
四半期純利益	3,845	3,321
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,845	3,321

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,845	3,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	196	871
為替換算調整勘定	806	1,409
退職給付に係る調整額	△17	△37
その他の包括利益合計	985	2,242
四半期包括利益	4,831	5,564
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,831	5,564

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	39,874	5,511	911	46,297	—	46,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49	238	17	305	△305	—
計	39,923	5,750	929	46,603	△305	46,297
セグメント利益	4,349	563	14	4,927	△10	4,917

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	装置事業	サービス 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	40,031	5,452	1,617	47,101	—	47,101
セグメント間の内部売上高 又は振替高	103	257	9	370	△370	—
計	40,134	5,710	1,626	47,471	△370	47,101
セグメント利益	4,074	119	87	4,280	1	4,282

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、のれんの金額に重要な変動はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,352百万円	1,426百万円
のれんの償却額	189	188

(重要な後発事象)

(株式給付信託（J-ESOP）の導入に伴う第三者割当による自己株式の処分)

当社は、2026年2月12日開催の取締役会において、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託（J-ESOP）」（以下、「本制度」という。）の導入、及び本制度の導入に伴う第三者割当による自己株式の処分について決議いたしました。

本制度の詳細につきましては、本日公表の「株式給付信託（J-ESOP）の導入に伴う第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ」をご参照ください。